

仙台市博物館協議会（平成 30 年度第 3 回）会議録

1. 会議の年月日 平成 30 年 10 月 30 日（火）

2. 開会及び閉会の時刻 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

3. 出席委員の氏名（五十音順・敬称略）

尾崎彰宏、小野寺健、菊池勇夫、今野隆、佐川正敏、佐藤憲子、伊達泰宗、長岡龍作、濱田淑子

4. 説明者の職及び氏名

館長＝内山淳一、副館長＝高橋三也、主幹兼学芸普及室長＝高橋あけみ、庶務係長＝鈴木由美、学芸企画室長＝樋口智之、指導主事＝片寄角洋、学芸企画室主事＝寺澤慎吾、学芸企画室主任・記録＝水野沙織

5. 議題及び報告並びに議事の要旨

(1) 会議録署名委員の選任

会長と菊池勇夫とする。

(2) 報告事項

① 平成 30 年 7～9 月の観覧者数について（庶務係長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料 1」のとおり。夏休みの 8 月より 9 月が多い。特別展「アンデス文明展」への団体による来館者増が要因か。

② 特別展「アンデス文明展」の結果報告について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料 2」のとおり。

〔委員からの意見等〕

展示品の写真撮影が可能であり、SNS での宣伝について市長が開会式で話していた。これは、珍しいことなのか。また、他の観覧者への影響はどうだったのか。

〔事務局からの回答〕

今まではなかった取り組み。主催者である TBS や TBC など主催者の意向で、SNS での発信による PR を期待したからである。当館でも常設展の撮影は可能（SNS での発信は申請必要）である。しかし、写真撮影時の音や記念撮影のような撮影は、他のお客様への迷惑になりかねない。お客様にマナーを守っていただくことを望んでいる。

③ 特別展「戊辰戦争 150 年」の中間報告について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料3」のとおり。

〔委員からの意見等〕

戊辰戦争で仙台藩が敗北したのは武器で劣っていたからである。その比較となるよう武器を多く展示すべきではないか。また、開会式の招待状はどの範囲に出しているのか、旧米沢藩の上杉氏、旧長岡藩の牧野氏も招待すべきではないか。加えて、レストランのメニュー・味について、海外のお客様を案内できる質にして欲しい。

〔事務局からの回答〕

今回の展示では、戦闘だけでなく政治を含む仙台藩の戦いをわかりやすく伝えることを目的にしている。今までは仙台藩の敗北の理由を武器の差としてきたが、実際は相当数の武器を購入しており、それだけが理由ではないと考える。大砲などの武器の展示は検討したものの、実現しなかった。招待状については、前例に沿って送っている（補足：本展覧会への出品者・情報提供者など関係者にも送付）。レストランについては、業者との打ち合わせでご意見を伝えしていく。

〔委員からの意見等〕

戊辰戦争 150 年展は総合的な内容でバランスも良かった。大勢の人が亡くなった事実や戦地の様子をもっと伝えるべきという意見もある。東北の戊辰戦争を紹介するのは難しいが、今回のリーフレットでは良く説明できている。ゆかりの場所 MAP も歩いてみようと思うのではないか。10月27日の講演会に参加した。400人以上の応募があったと聞いているが、市民の方の感想を聞く場も欲しい。

来館者も多く、市民の関心も高いようだ。リーフレットの「仙台藩と戊辰戦争かんたんガイド」や会津藩士の渋谷源蔵のナビゲーション、外国人向けの要旨英訳など、いろいろ工夫されており、いい展覧会となっている。NHK などマスコミにも広く取り上げられ、河北の連載記事「奥羽の義」が山口の新聞でも掲載が決定するなど、うれしいことが多い。

50 年後（戊辰戦争 200 年）には、東北内だけでなく西日本各地と協力する展覧会があってもいいのでは。観覧者数もいい出足である。ぜひ今後も増えていって欲しい。

④市史活用推進事業および資料レスキューについて

〔事務局からの報告要旨〕

「資料4」のとおり。

⑤ 教育普及事業について

〔事務局からの報告要旨〕

「資料5」のとおり。

夏休みサポートプロジェクトについては次年度以降も検討する。

(3) 協議事項

①特別展「いつだって猫展」の開催について

〔事務局からの報告要旨〕

「資料6」のとおり。

また、イベントとして展示室出口に自分の飼い猫の写真を貼るパネルの設置なども考えている。

[委員からの意見等]

現実との接点のある展示やイベントがあるのであれば、殺処分される猫など悲惨な現況があることも伝えて欲しい。

[事務局からの回答]

検討している。殺処分前の猫・犬の移譲会を開催しているアニマル仙台の活動をパネルで紹介することも考えている。

[委員からの意見等]

猫と養蚕の関係を展示で紹介して欲しい。仙台展でのリーフレットを作成してもよいのでは。

[事務局からの回答]

常設展で東北の猫についてのパネルや関連資料の展示などを予定している。リーフレットについても検討する。

(4) その他

①その他

[会長からの提案]

協議会の開催について、平成16年以降は年4回程度開催していたが、仙台市博物館条例では、協議会の開催は会長が認めた時に開催すると定められている。しかし、協議事項がない場合には年間3回にしてもよいかと考える。

[事務局からの説明]

博物館は平成32年1月～3月 受変電設備の交換のため休館、平成33年9月～2年半は長寿命化の大規模改修のため休館する。休館中も博物館としての活動を考えている。展覧会の数も少なくなり、協議事項も減ることから当面年3回でも特段問題ないだろう。しかし、協議が必要な議案がある時には回数にとらわれず協議会を開催したい。

[委員からの意見等]

回数を減らすことには賛成である。協議会で展覧会の年間予定や、長期的な博物館の方針も協議できる場にして欲しい。

[事務局からの回答]

展覧会の協議については、これまで予算が確定するまで協議事項にかけられなかった。しかし、最近では事前広報の為にも予算内示前に情報を提供できるようになったので、協議会でもお伝えすることができると思う。

来年度以降は年3回程度の協議会開催で異議なし。

次回、平成30年度第3回協議会は2月5日(火)15時からの開催を予定している。